

冷蔵コンテナ用冷却ユニット

[業務用]

形名

CFL-T3

取扱説明書

もくじ

安全のために必ず守ること	2
1. 各部の名称	5
2. ご使用前に	7
3. ご使用方法	10
4. お手入れ	11
5. 修理を依頼する前に	13
6. 保証とアフターサービス	15
7. 警報装置設置のすすめ	15
8. フロン排出抑制法	15


このたびは冷蔵コンテナ用冷却ユニットをお買い求め頂きまして、まことにありがとうございます。


ご使用前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。

そのあと、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しく下さい。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しく下さい。

一般事項

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

- ◆封入すると、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・火災・爆発の原因になります。
 - ◆法令違反の原因になります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



安全装置・保護装置の改造や設定変更をしない。

- ◆改造や設定変更または当社指定品以外のものを使用すると、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。



ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけない。

- ◆工具などが落下すると、けがの原因になります。



コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしない。

- ◆引火・火災・爆発の原因になります。



ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしない。

- ◆引火・火災・爆発の原因になります。



以下の特殊な環境では使用しない。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
 - ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 性能低下・腐食により、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災の原因になります。



改造はしない。

- ◆改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。



殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹き付けない。

- ◆変形・引火・火災・爆発の原因になります。



ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しない。

- ◆ ヒューズ以外のものを使用すると、発火・火災の原因になります。
- ◆ 指定容量のヒューズを使用してください。



禁止

水・液体で洗わない。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。
- ◆ ぬれた手を拭いてから、作業してください。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、主電源を切る。

- ◆ 運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。
- ◆ 回転機器により、けがの原因になります。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛ける。

- ◆ 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電の原因になります。



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- ◆ 異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。
- ◆ お買上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡してください。



指示を
実行

コントローラのカバーを取り付ける。

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



指示を
実行

端子箱・制御箱のカバーまたはパネルを取り付ける。

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



指示を
実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



指示を
実行

注意

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さない。

- ◆ 感電・故障の原因になります。



使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しない。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



使用禁止

動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- ◆ 保存品が品質低下する原因になります。



使用禁止

部品端面に触れないこと。

- ◆ けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

保護具を身に付けて操作する。

- ◆ 各基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電の原因になります。
- ◆ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電の原因になります。



指示を
実行

電気部品を触る場合は、保護具を身に付ける。

- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



コントローラの廃棄は専門業者に依頼する。

- ◆ お客様ご自身で処分すると、環境破壊の原因になります。



移設・修理をするときに

警告

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしない。

- ◆ ショート・感電・故障・火災の原因になります。



ユニットの移設・分解・修理は、販売店または専門業者に依頼する。

- ◆ 作業に不備があると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- ◆ お客様ご自身での作業は、事故の原因になります。



修理をした場合、部品を元どおり取り付ける。

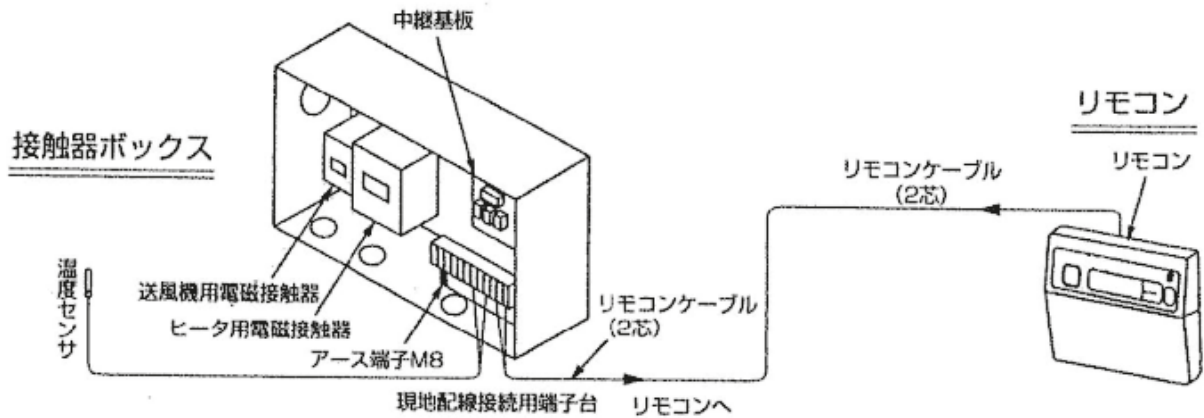
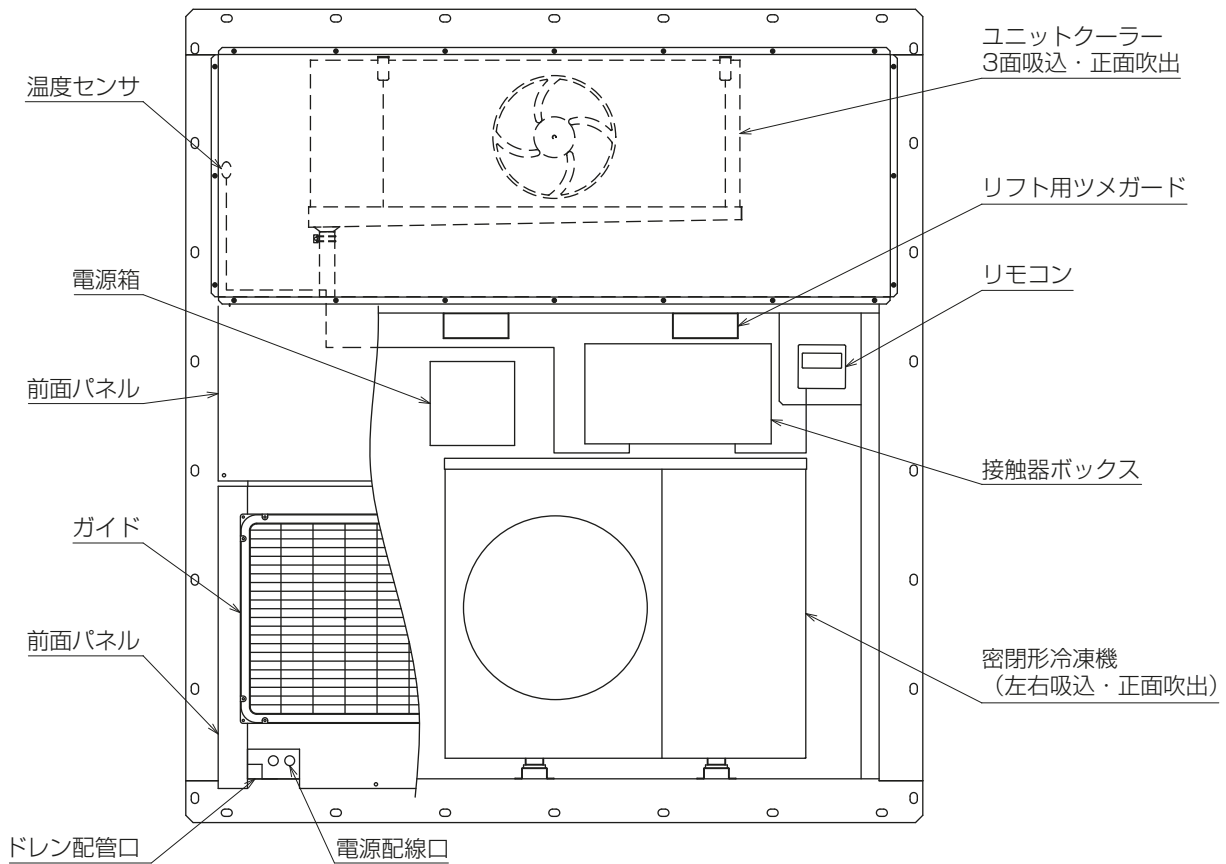
- ◆ 不備があると、けが・感電・火災の原因になります。



1. 各部の名称

1-1. 各部のなまえとはたらき

1-1-1. 各機器の名称



1-1-2. 付属品

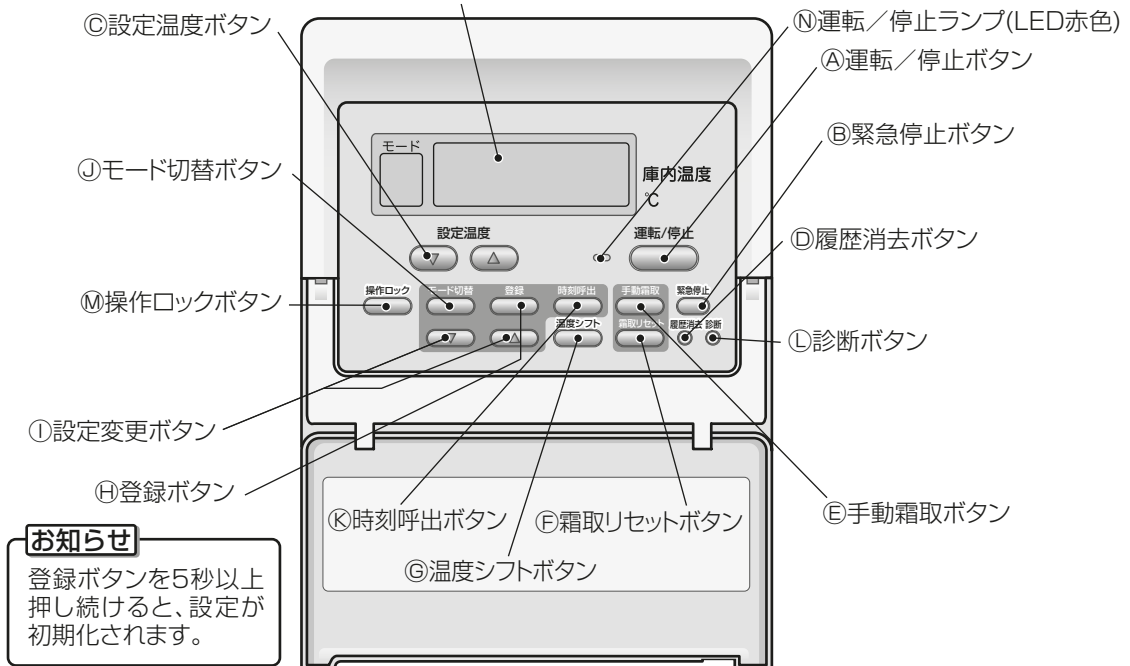
No.	名 称	個数
1	ボルト SUS M16 × 35	30
2	平座金 SUS M16	30
3	ばね座金 SUS M16	30
4	平座金 ポリカーボネート M16	30

No.	名 称	個数
5	パッキン A, B, D	各 2
6	パッキン C, E, F, G	各 1
7	ネオシール B3	1

1-1-3. リモコン部

[1] リモコン

「[2] リモコン表示部説明」参照
(6 ページ)



項目	説明
⑩運転/停止ボタン	ボタンを押す度 (2 秒以上押し続ける)、運転⇄停止が切替わります。異常時は、一旦停止させることにより異常停止が解除されます。
⑨緊急停止ボタン	ボタンを押すことにより、ユニット運転中圧縮機、冷却ファンを瞬時に停止できます。
⑫設定温度ボタン	ボタンを押すことにより、設定温度の調整が可能です。
⑧履歴消去ボタン	自己診断モード中にボタンを押すことにより、過去の異常履歴を消去します。
⑥手動霜取ボタン	ボタンを押すことにより、強制的に霜取を開始します。
⑤霜取りリセットボタン	ボタンを押すことにより、霜取運転時に霜取を強制終了させます。 ・【霜取りリセット】ボタンを押すときは、霜取が終了していることを確認してください。
⑤温度シフトボタン	ボタンを押すことにより、設定された温度シフト差分、庫内温度設定が下がります。(最初の1回のみ)
②登録ボタン	【設定変更】ボタンにて変更した値の登録をします。
①設定変更ボタン	設定モード時、各種設定値を変更します。(▽ △)
⑬モード切替ボタン	ボタンを押すことにより、設定する項目 (モード) を切替えることができます。
③時刻呼出ボタン	ボタンを押すことにより、モード 6 ~ 8 で設定する時刻の表示を切替えます。
⑦診断ボタン	ボタンを押すことにより、自己診断モードに入ります。 5 秒以上押し続けると、リモコン診断モードに入ります。
⑭操作ロックボタン	ボタンを押すことにより (2 秒以上押し続ける)、他の操作ボタンが無効になります。 ・【運転/停止】、【緊急停止】ボタンはロックしません。
⑪運転/停止ランプ (LED 赤色)	運転時「点灯」 異常時「点滅」

[2] リモコン表示部説明



項目	説明
①モード番号表示部	【モード切替】ボタンを押す度、モード番号表示が切替わります。
②操作ロック表示部	操作ロック時に表示します。
③庫内温度・設定温度表示部	庫内温度もしくは設定温度・設定時刻を表示します。

2. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。

2-1. 使用上のお願い

警告

以下の特殊な環境では使用しない。

◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところ

◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

◆性能低下・腐食により、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災の原因になります。



使用禁止

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしない。

◆引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしない。

◆引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹き付けない。

◆変形・引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。

◆感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。

◆ぬれた手を拭いてから、作業してください。



ぬれ手禁止

異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源スイッチを切る。

◆異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。

◆お買上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡してください。



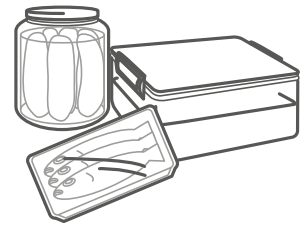
指示を実行

1) 設置状態を確認してください。

- ・ リモコンの温度センサは庫内温度を検知する適切な位置にあるか確認してください。

2) 食品は密閉してください。

- ・ 食品は密閉容器に入れるか、ラップフィルムで包んでください。他の食品のにおいが移らず、乾燥も防げます。



3) 腐食性雰囲気になるものを保存しないでください。

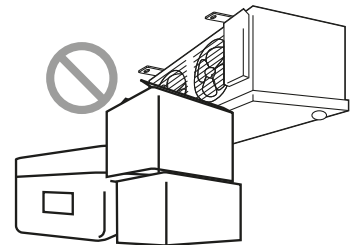
- ・ 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れてください。また、腐敗物があると、アンモニアなどの腐食性ガスが発生します。腐敗物を放置しないでください。密閉されていない場合や腐食性ガスがある場合、ユニットクーラが腐食し故障するおそれがあります。

4) 長時間使用しないときは、主電源を切ってください。

- ・ 安全のため電源を切ってください。

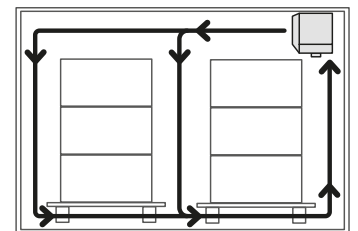
5) 吹出口・吸込口をふさがないでください。

- ・ ユニットクーラ・コンデンシングユニットとも風の流れをさまたげると冷却効果が低下します。吹出口や吸込口をふさがないでください。



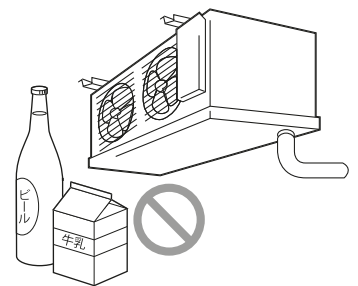
6) 冷気の循環をよくしてください。

- ・ 商品は、隙間を空けて積んでください。床にすのこなどを敷くとさらに効果的です。
- ・ ユニットクーラの冷気吸込口や冷気吹出口の前に商品を置かないでください。



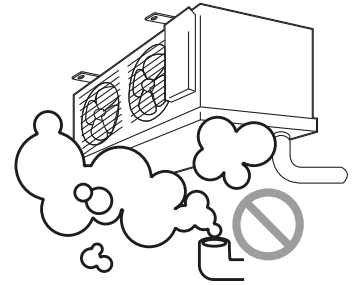
7) 冷気吹出口の近くに液体を置かないでください。(冷蔵用ユニットの場合)

- ・ 冷えすぎて凍ることがあります。



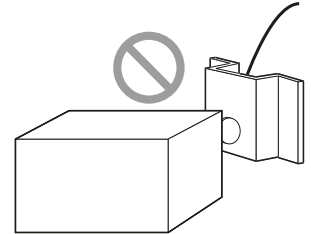
8) 加湿器を冷氣吸込口の近くに置かないでください。

- 加湿器を設ける場合、加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。また湿度は 90% RH 以下で使用してください。蒸気を直接吸い込んだり、湿度が高い条件で使用しますと送風機が故障するおそれがあります。なお、加湿器を使用する場合は、霜付きが早くなりますので霜取りの間隔を見直してください。



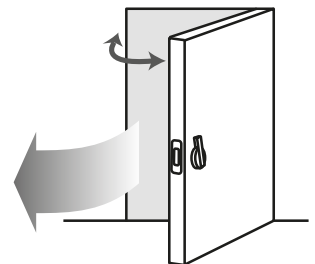
9) 温度センサの周囲には商品を置かないでください。

- 温度センサの前に商品を置くと、適切な庫内温度を検知できません。



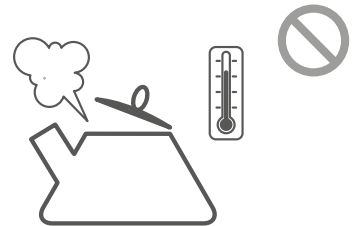
10) 扉の開閉はできるだけ少なくしてください。

- 商品の出し入れは回数を少なく、短時間に行ってください。扉を開けたままにしておくと、暖かい空気が庫内に入り冷えが悪くなります。
- 多量の商品の出し入れなど長時間扉を開けたままにする場合は、[運転 / 停止] ボタンを「切」にしてください。ユニットクーラの霜付きを防げます。



11) 熱いものは冷ましてから入れてください。

- 熱いまま入れると庫内の温度が上がり、他の商品に悪い影響をあたえます。



12) 凍結の目的では使用しないでください。(冷凍用ユニットの場合)

- 冷凍用ユニットは凍結された商品を保存するために使用してください。

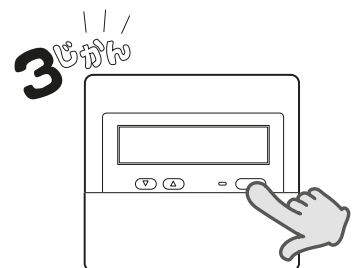
13) 運転スイッチを 3 分以内で繰り返し操作しないでください。

- 圧縮機に無理がかかり、故障するおそれがあります。
- 運転スイッチを 3 分以内で操作した場合、圧縮機は運転しません。3 分間経過するまでお待ちください。

14) 長期間（数日以上）停止するときは、ユニット内部の弁の操作が必要な場合があります。工事店に連絡してください。

15) 半日以上停止した後、再び運転する場合は主電源を入れて少なくとも 3 時間経過後リモコンの [運転 / 停止] ボタンを「入」にしてください。

- 圧縮機内部から油が大量に持ち出され、圧縮機が故障するおそれがあります。



16) 高級商品の冷蔵・冷凍用途などに使用する場合、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように警報装置を設けてください。

- ユニットには保護装置が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けています。警報装置の接続を販売店に依頼してください。

17) 血液・ワクチン・医薬品など厳重な温度管理を必要とする用途に使用される場合、販売店にお問い合わせください。

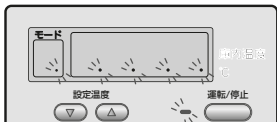
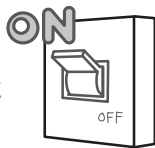
3. ご使用方法

冷却開始

1

主電源を入れる。

主電源を入れると約1分間リモコンが点滅表示し、その後庫内温度が表示されます。



2

〔運転/停止〕ボタン④を押してください。

(〔運転/停止〕ボタン④は誤作動防止のため2秒以上押し続けると動作します)



3

〔設定温度〕ボタン③のどちらかを1回押すと、表示が『設定温度』に切替わり、現在の設定温度を表示します。続けて〔設定温度〕ボタン③押して設定したい温度に数値を合せます。

(メモ1)

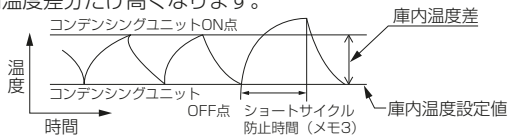
ボタン操作時、以下の表示をする場合、ユニットコントローラにて手元操作禁止の設定を行っています。お買い上げの販売店または専門業者へご相談ください。



(メモ2)

庫内温度設定と庫内温度差の関係

●庫内温度の設定値は、ユニットの停止する温度 (OFF: 切値) を示します。ユニットが運転する温度 (ON: 入値) は庫内温度差分だけ高くなります。



(メモ3)

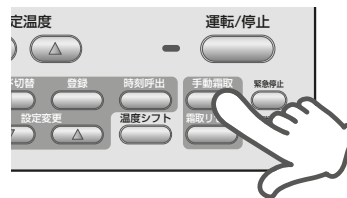
ショートサイクル防止機能が付いています。庫内温度差を小さくした場合でも冷蔵庫内の負荷の程度によっては、コンデンシングユニットON点を超えることがあります。

4

商品は庫内が適温になってから入れてください。(外気温や冷蔵庫によって適温になる時間は異なります。)

霜取

霜取は自動的に行います。“冷却運転”途中で霜取を行う場合は操作パネルを開け〔手動霜取〕ボタン⑤を押してください。商品はそのままでかまいません。なお霜取中は表示部に『dF』が表示されます。



(メモ1)

ヒータ霜取の場合冷却器ファンは霜取中停止します。

(メモ2)

霜取中 (『dF』表示中) は手動霜取を受け付けません。

停止

1

〔運転/停止〕ボタン④を再度押してください。運転/停止ランプが消灯し、しばらくしてユニットは停止します。

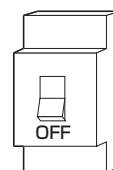


お願い

霜取中 (『dF』の表示中) は〔運転/停止〕ボタン④を押さないでください。

2

長期間停止する場合は主電源を切ってください。



4. お手入れ

警告

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹き付けない。

- ◆変形・引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

水・液体で洗わない。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ
禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。
- ◆ぬれた手を拭いてから、作業してください。



ぬれ手
禁止

掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、主電源を切る。

- ◆運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。
- ◆回転機器により、けがの原因になります。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛ける。

- ◆薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電の原因になります。



指示を
実行

端子箱・制御箱のカバーまたはパネルを取り付ける。

- ◆ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



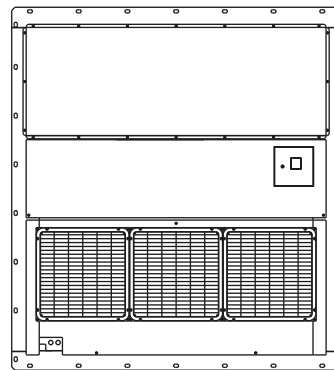
指示を
実行

- 安全のため、お手入れの前に主電源を切ってください。
- 端子箱やファンモータに、水をかけないでください。故障（特に漏電）のおそれがあります。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使わないでください。

[1] コンデensingユニット

(1) キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭き取ってください。



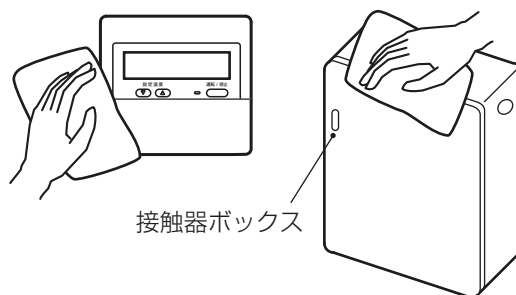
(2) 放熱器

- 放熱器が汚れますと熱交換が悪くなり、冷却能力が低下しますので定期的な洗浄が必要です。洗浄の際は、販売店にご相談願います。

[2] リモコン・接触器ボックス

(1) キャビネット

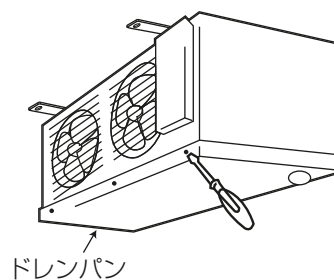
- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。



[3] ユニットクーラ

(1) ドレンパン

- ドレンパンの開けかた
ドレンパン固定ネジを外してください。
- 清掃のしかた
布で内側の汚れをふきとってください。



5. 修理を依頼する前に

- サービスをお申しつけ前につぎのことをお調べください。
以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源スイッチを切ってください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店）にご連絡ください。

[1] 故障かな？と思ったら

現象	原因の確認	処置方法	
まったく運転しない。	主電源・ブレーカが切れています。	完全に入っていますか。もう一度入れなおしてみてください。	
	停電しています。	復電後自動復帰します。	
	【運転・停止】ボタンが切になっています。	リモコンの【運転・停止】ボタンを再び「入」にしてください。 運転／停止ランプが発光していることを確認してください。	
	庫内温度設定値が高くなっています。	設定値を見直してください。	
	ショートサイクル停止中になっています。	ひんぱんな発停を防ぐためコンデンシングユニットが停止すると約3分間は再起動しません。 約3分間おまちください。（運転スイッチをいったん「切」にし、再運転する場合も約3分間起動しません。）	
温度表示部が「E0」、「E1」を表示したとき。 ^{*1}	風通しが悪くなっています。	障害物を取除いてください	
E0 冷却中のコンデンシングユニット異常（保護装置作動）	ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっています。		
E1 霜取中のコンデンシングユニット異常（保護装置作動）	コンデンシングユニットの放熱器にゴミが付着しています。	放熱器を掃除してください。 「4. お手入れ」の項をお読みください。	
	発熱物がコンデンシングユニットの近くにあります。	発熱物を取除いてください。	
よく冷えない。 または、温度表示部が「HC」を表示したとき。 ^{*2}	扉が開いています。	扉をしっかり閉めてください。	
	HC 高温警報	異物などがはさまって隙間があいています。	
		商品の温度が高すぎます。	熱いものは冷ましてから入れてください。
		お湯、お茶などが高温状態で入っています。	
		風通しが悪くなっています。	障害物を取除いてください
		ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっています。	
		扉の開閉の回数が多いためです。	開閉の回数を減らしてください。
		発熱物がコンデンシングユニットの近くにあります。	発熱物を取除いてください。
	コンデンシングユニットの放熱器にゴミが付着しています。	放熱器を掃除してください。 「4. お手入れ」の項をお読みください。	
温度表示部が「dF」を表示したとき	霜取中であり、故障ではありません。	霜取終了後一定時間が経過してから、庫内温度を表示します。	
温度表示部が「H0」、「LO」を表示したとき	温度センサが故障しています。	お買上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。	
H0 温度センサ短絡			
LO 温度センサ断線			
温度表示部が「HH」を表示したとき	庫内温度が50℃以上になっているため、ユニットを停止しています。	庫内に発熱物が無いか確認してください。 該当しない場合は、お買上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。	
HH 50℃高温警報			

現象	原因の確認	処置方法
温度表示部が「LH」を表示したとき*3 LH 庫内温度低下警報	設定温度以下になってもユニットが運転しているため、ユニットを停止しています。	お買い上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。
温度表示部が「Cd」を表示したとき Cd プレアラーム警報	コンデンスユニット側の保守点検が必要です。	コンデンスユニット側の基板 LED 表示内容を確認のうえ、お買い上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。
温度表示部が「99」を表示したとき	外部接点入力による緊急停止が作動しています。	外部接点の設置場所を点検してください。
温度表示部が「H4」、「L4」を表示したとき H4 湿度センサ短絡 L4 湿度センサ断線	湿度センサが故障しています。	お買い上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。
温度表示部が「FE」を表示したとき FE 緊急停止中	集中コントローラ (AE-200J 等) からの指示により緊急停止しています。	緊急停止の原因を調査してください。問題が解決されれば集中コントローラで解除操作をしてください。
温度表示部が「CC」を表示したとき CC 機種識別異常	機種識別に失敗しています。	お買い上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。
モード表示部が「A」を表示したとき	スケジュール設定に基づいてナイトセットバック運転が行われています。	通常冷却運転の開始時刻になれば表示が消えて元の運転に戻ります。
モード表示部が「F」を表示したとき	集中コントローラからの指示によりユニットが強制停止しています。	集中コントローラからの指示が解除されると表示が消えて元の運転に戻ります。
温度表示部が「d0」、「d2」、「d3」を表示したとき d0、d2、d3 ユニット間通信 (M-NET) 途絶え	ユニット間通信 (M-NET) が途絶えています。	お買い上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。 なお、このときユニットは霜取運転を行いませんので、長時間運転を継続される場合はユニットクーラの霜の付着量を確認してください。

※ 1 温度表示部が「E0」、「E1」を表示したときのリセット方法

原因を取除いてから運転を開始してください。リモコンの【運転/停止】ボタンをいったん切り、再び入れると運転を再開することができます。

※ 2 温度表示部が「HC」を表示したときのリセット方法

リモコンの【運転/停止】ボタンをいったん切り、再び入れるとリセットできます。

ただし、庫内温度が低下していないと再度表示します。

※ 3 温度表示部に「LH」が表示する条件について

万一の電磁弁 (液管) の不具合を考慮して、設定温度から 3℃ 低下した状態を 1 分以上継続するか、設定温度以下の状態を 10 分以上継続した後さらに温度が低下する場合、リモコンは「LH」(庫内温度低下警報) を表示します。ただし、外気条件 (設定温度より外気温度が低いなど) によっては異常でなくても「LH」表示がでる場合があります。このような場合、表示が出ないように設定できますので、販売店にご相談ください。

[2] 次の場合は故障ではありません

1) 風が横に吹いている (ユニットクーラ)

ユニットクーラへの霜の付着量が増えてきますと、冷風が横に吹いたり、羽根の回転が目視で確認できるくらい遅くなります。

これは霜付が多すぎるために起こりますので、霜取運転の間隔を見直してください。

2) 音がする (ユニットクーラ)

ユニットクーラを目詰まり状態で使用されますと、パネルなどからビビリ音が出ることがあります。

これは、目詰まりによって送風機に静圧がかかったことによるものですので、霜取運転の間隔を見直してください。

3) 温度表示部に「dF」が点滅表示する (リモコン)

霜取終了後、一定時間は庫内温度を正しく表示できない場合があるため「dF」表示を点滅させています。

点滅表示は 15 分程度で庫内温度表示に戻ります。

4) 表示がちらつく (リモコン)

冷蔵庫の扉の開け閉めの際、静電気によりリモコンの表示がちらつくことがあります。

6. 保証とアフターサービス

6-1. 無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め1年間としますが、無償にて支給するのは故障した部品、または当社が交換を認めたユニットに限ります。ただし、「6-1-1. 保証できない範囲」に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

6-1-1. 保証できない範囲

- 1) 指定した使用範囲外で使用したことによる事故の場合
- 2) 機種選定に不具合がある場合
冷却負荷に対し明らかに過大または過小の能力を持つユニットを選定し、故障にいたったと当社が判断した場合
- 3) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合
- 4) 運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合
 - ・塩害
 - ・据付け場所不備による事故（風量不足、化学薬品等の特殊環境条件）
 - ・メンテナンス不備（ガス漏れを気付かなかった場合）
- 5) 天災、火災による事故
- 6) 据付工事中に不都合がある事故
 - ・当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず、改善されなかった場合
 - ・軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合
- 7) その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保障できません。
また、**ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の2次補償はいたしませんので販売店等と相談の上、損害保険で対処してください。**
(販売店等と相談して損害保険に加入してください。)

万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し運転スイッチを切り、お買い求めの販売店へご連絡ください。また、未長くご愛用頂くために、定期のお手入れ、点検等は販売店との保守契約をおすすめします。

7. 警報装置設置のすすめ

保護回路が作動して運転が停止したときにブザーが鳴る警報回路を設けていますので据付工事説明書により、警報回路が作動するようにしてください。万一、運転が停止した場合に処置が早くできます。

高級品の貯蔵、医薬品など厳重な温度管理を必要とする場合は、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように、警報回路が作動するように設定の実施や設備上のご配慮（保護サービス設置等）をお願いします。

8. フロン排出抑制法

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

• 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



ユニット本体を廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店、メーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



製品に表示されている左記のシンボルマークは、冷蔵コンテナ用冷却ユニットに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることをご認識いただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備をするときには、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

製品にはフロン類の種類・GWP（地球温暖化係数）が表示されています。

- ・フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- ・冷媒の種類及び数量並びにGWP（地球温暖化係数）は、定格銘板に記載されています

三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号
(三菱電機(株)冷熱システム製作所内)